



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2017年12月 No.427
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『一期一会』 国際会長 : 『ともに、光の中を歩もう』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ』 中西部部長 : 『未来には希望がある』	会 長 : 三浦 直之 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 松浦 孝次 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of December

マタイによる福音書2章9節~12節

《聖句は次頁へ》

幸せのメカニズム

岡本 剛介

科学的に幸せというものに興味があり、「幸せのメカニズム」という本を読みました。著者の前野隆司さんは、ロボットと脳の研究者です。ロボットに感情を作ろうと思った時に、人はどんな時に幸せで満たされるのかを疑問に思い研究されています。幸せといっても、一時的な幸せと、スパンの長い幸せがあります。例えば、年収70,000ドル(1千万円)を超えると年収と比例して幸福感は得られないのだそうです。一時的な幸福、こうなったら幸せだと勘違いしていることをフォーカススルーと言います。お金持ちになったら、あの人がいなくなったら、こんなところに住めば、などなど。では幸せの原因とは何か？それは四つの因子で表現されています。「やってみよう!」因子/「ありがとう!」因子/「なんとかなる!」因子/「あなたらしく!」因子です。

私はクラブの先輩メンバーを見ていると、この因子をバランス良く持っているなーと感心します。詳しく知りたい方はまたお話ししましょう!

December Club Meeting

『EMC-M』

12月第1例会

日 時: 2017年12月13日(水) 18:30~20:30

場 所: カクチーナ ケ インカント
 西宮市市庭町9-12香榎館C棟

司会: 松浦 孝次 君

- | | |
|--|---------------|
| 1. 開会 | 吉岡 香代子なかのしま会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 今井 利子 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 各会長 |
| 5. 食事と演奏 | 一同 |
| 食事: ビュッフェ形式 | |
| 歌と演奏: 角地正直さん(テノール)、中井 祥子さん(ソプラノ)
南 なほきさん(ピアノ) | |

- | | |
|----------------|----------|
| 6. 連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 7. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一同 |
| 8. 閉会 | 三浦 直之 会長 |

※会費は4,500円(小学生以下は無料)

お誕生日: 岡本、中村隆、何の各メン

※プレゼントは、岡本剛介メンに用意していただきます。

例会担当: 3班: 石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

12月第2例会

日時: 2017年12月20日(水) 18:30~20:30

場所: 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

11月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント		ニコニコ献金
在籍会員 20名	メ ン	12名	9名	11月	0g	11月: 14,000円
例会出席 13名	メネット	4名	0名	現 金	0円	
うちメーカー	ビジター	0名	0名	累 計		ホケヨク: 1,500円
キャップ 0名	ゲ ス ト	2名	0名	切 手	204g	累 計: 79,695円
出席率 65%	合 計	18名	9名	現 金	0円	ホケヨク: 22,600円

「彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリヤと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、『ヘロデのところへ帰るな』と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った」。

(聖句選：松浦 孝次)

11月第1例会報告

と き：2017年11月15日(水) 18:45~20:45
ところ：ホテルグランヴィア大阪

寒さを感じる今日この頃、11月例会はゲストを含め、18名が参加して行われました。

本日のハイライトは、先月入会されたばかりの小林一則さんの卓話。「読売新聞社会部記者からゴルフ場経営者」と題し、新聞社の新聞づくりの工程から、新聞業界の移り変わり将来にも及ぶ話を、体験談も交えてお話しいただきました。

入社当時の記者時代は、ケータイもなく、ポケットベルかファクス、公衆電話から記事の内容を伝えることもあり、今のようにノートパソコンで記事を打ち、ケータイで送信するなど思いもよらぬこと、カメラのフィルムが空回り写真がとれなかった失敗談には会場であなづき姿も。

今や、新聞社も斜陽産業であるが、国内の新聞の信頼性は高く、宅配システムは世界でも突出している。今のゴルフ場にしてもバブル期よりゴルフ人口は激減したが、リオ五輪でゴルフ競技が復活するなど、ジュニア層の育成やレディスゴルファーの増加をめざすなど、意気込みを熱く語っていただきました。



新聞業界はいいところへ・・・と熱く語る小林メン

≡ ≡ ≡ ≡ Club Activities November, 2017) ≡ ≡ ≡ ≡

On November 15, our club's dinner meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 18 Y's men, Y's menettes, Y'sling and guests in attendance. With its emphasis on "Public Relations Wellness" this month, Mr. Shigetaka Nakamura briefed the purposes and meanings of the program.

The highlight of the meeting was a speech made by Mr. Kazunori Kobayashi, director and chief of the business strategy headquarter of the Yomiuri Golf Resort Co., Ltd, Nishinomiya, Hyogo Prefecture.

Under the title of "Change of profession from newspaper reporter to executive officer of golf resort company", he frankly spoke about the inside story of both newspaper company and golf resort industry. He told us how newspapers reporter collects a variety of news materials, and how newspaper is published with a lot of time and energy of persons involved in detail. However, we were most interested in the fact that both business worlds he concerns or had concerned himself are fading industries.

As for newspaper industry, the circulation of news Paper had been declining remarkably due to development of IT and as the result, tendency to read less and less among younger generation. (He had been a reporter at the Yomiuri News Paper Co., the largest News Paper Co., in Japan for more than 30years. The number of circulation of the Yomiuri decreased from 10 million at the high season to 8 million at present.)

Similar observable fact could be seen in the golf resort industry, according to Mr. Kobayashi. Number of golfers had been declining from 14 million at the golden age in 1986 to 1991 to 8 million at present. This situation is also caused by moving away of younger people from golfing and car driving. Despite such a pessimistic tendency, he was rather optimistic about the future of newspaper industry, as the credibility of Japanese to the newspaper was still at the top rank according to the Yomiuri and Gallop joint public-opinion poll. Incidentally, credibility number one in the USA was the armed forces.

As for golf resort industry, however, he anticipated that the golf courses with no individuality, specially in local area will fall by the wayside after the process of hard survival competition.

Thank you Mr. Kobayashi! We learnt a lot from you. Yen 14,000 was collected as the Niko-Niko (smiling) fund at the meeting.

今年もまもなく主の降誕を迎えます。 昨年の降誕節はパレスチナの地で迎えました。その時経験した「聖誕劇」の様子を写真で贈ります。

受胎告知 (The Annunciation) ルカによる福音書によれば、ナザレに住んでいたヨセフの許嫁マリアのもとに天使ガブリエルが現れ、受胎を告げました。 ナザレの旧市街にある受胎告知教会は、これを記念して建てられました。マリアが受胎告知を受けたと伝えられる洞窟の上に建てられた大変モダンな教会です。なかには世界各国から送られた聖母子像の壁画並んでいます。日本からは日本人画家、長谷川路可(1897~1967)による「華の聖母子」が飾られていました。(写真はモダンなカトリック教会堂の外部と教会に飾られている日本からの聖母子像)



教会堂の外観と聖母子像



イエス聖誕教会(Nativity Church) イエス聖誕の地をこの教会の地下洞窟としたのは、ローマのコンスタンティヌス大帝の母ヘレナでした。(写真は、教会の地下の聖誕の場所) 西暦325年に教会が建てられました。イエス誕生のエピソードは、新約聖書のマタイとルカによる二つの福音書 2 章に詳しく記述されています。もともとイエスの両親であるヨセフとマリアはガリラヤのナザレに住んでいました。マリアが受胎告知を受けてからベツレヘム来た理由は、時のローマ皇帝のアウグストゥスが、「人口調査」を行うとの勅令を出したためです。故郷であるベツレヘムの戻ったヨセフ一行は、大勢の人の移動で宿を見つけることが出来ないまま、マリアはイエスを生むこととなります。イエスは飼葉おけの中で誕生しました。新しいユダヤの王を一目見ようと東方の 3 人の博士が星に導かれてベツレヘムにやってきました。



教会の地下、生誕の場所と、教会前にあった「生誕劇の人形」

11 月第 2 例会報告

と き：11月22日(水) 18:30~19:45

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、岡本、芝田、藤原、何、松浦、山田、三浦の各メン

〈クラブ活動〉

- ・センテニアル懇親会 2018年2/11(日)、12(祝) ダイヤモンドクラブ有馬温泉ソサエティ本館 申込期限を確認。
 - ・ファミリーコンサート 5月12日(土) 14:00~16:00 大阪 YMCA 会館ホール
 - ・新年会企画 (Y スタッフ、船戸、三浦メンで調整) 1/15、1/18、1/19
 - ・3月か4月、ハイキング企画
- 《検討課題》
- ・次期役員を選出 会長=三浦(留任)、副会長=中村茂、書記=大村、会計=岡本(留任) ※藤原メンより、会長の役割の分担化、全員参加のクラブ運営の提案、賛同を得た。
 - ・12/8(金) 土佐堀 Y クリスマスコンサート運営協賛金 1万円を出すことを承認。
 - ・1/28 チャリティーボウリングに i-cosy 参加費支援承認。

YMCA ニュース

☆第 296 回 早天祈祷会

日時：2017年12月15日(金) 7:30~8:30

奨励：金 安弘さん(在日大韓基督教会 牧師)

場所：大阪 YMCA 会館 10 階チャペル

☆「いじめのない世界をめざそう」

YMCA ピンクシャツデー2018

今年も全国 YMCA と共にピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)を実施いたします。2月28日(水)当日に向けて、YMCA 各拠点にて、ピンク色のアイテムを身に着けたり飾ったりすることでいじめ反対をアピールしていきますので、ご協力をお願いいたします。世界的な「いじめ」反対運動に連なり、地域社会や他団体・企業・行政とも協働し、広く推進してまいります。

ピンクシャツデー…2018年2月28日(水) ※取り組み

期間…2018年1月~3月3日(土)

☆大阪 Y クリスマス献金に引き続き協力をお願いします!

*個別支援プログラム支援金…地域における課題解決(地域支え合い・交流、世代間交流、児童養護施設招待キャンプ、子育て支援など)のプログラム

*国際奨学金支援金…海外からのユースの勉強支援

*国際協力募金…日本 YMCA 同盟が行う国際支援活動(災害、紛争、貧困等の解決)

*国際協力活動支援金…グローバル社会に平和を創りだすアジアのユース育成

*青少年育成活動支援金…チェンジメーカーとして社会課題に参画する青少年育成

【期限】2018年1月31日(水)まで

【お問合せ】お近くの YMCA またはクリスマス献金事務局 (TEL: 06-6441-0894)

(船戸 輝久)



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ビジター、ゲストからのメッセージ》

○新聞について楽しい話とゴルフ業界の今について、興味深いお話、小林さんありがとうございました。

(大阪土佐堀クラブ・工藤 義正)

○本日はありがとうございました。

(大阪西クラブ・湯浅 禎也)

《会員、メネットからのメッセージ》

○新聞が作られるプロセスで、今と昔の違いを知り、昔の記者さんは大変だったなと感じました。イアマは新聞を購入していませんが、TVやインターネットで必要な情報を得ている状況です。

(石津 雅人)

○小林さんの新聞社の裏話について興味深く拝聴しました。

(大村 肇)

○先日、息子に続き娘も洗礼を受けました。心豊かにすくすく育ててくれたらと思います。ワイズの例会も、子どもたちの社会勉強に来られるうちは連れていきたいと思っています。

(角地正直、中井祥子)

○本日は新入会の小林さんのお話が聞けてうれしいです。小林さんがクラブの中で活躍されますことを楽しみにしています。

(坂本 千春)

○小林メン入会后、早速の卓話ありがとうございます。明快な新聞の色々について良くわかりました。

(芝田 光雄)

○小林さんの話を聞き、私も畑違いですが、ザラ紙に原稿を書いた記憶がよみがえりました。

(中村 茂高)

○センテナルの例会に幼児や赤ちゃんが来てくれています。

センテナルの永遠を感じ得ます。

(中村 幸枝)

○わかりやすい小林さんの単語で、新聞業界の実情がよくわかりました。新聞も斜陽産業化している由、時代の変化を感じます。ゴルフ業界も若者のゴルフ離れで一時的勢いはないとのこと。新聞業界と同じですね。これからクラブ活動で色々のご教示頂けることを楽しみにしています。

(藤原 正巳)

○先日の中旬から香港、中国、カンボジア、台湾に出張行ってきました。カンボジアは初めて行きましたが、アンコールワットにも足をのばして、とても良い経験をさせて頂きました。小林さんのお話、とても楽しく聞かせて頂きました。(何 早林)

○小林様のスピーチ、大変興味深く拝聴しました。「新聞」は「大変貴重な文化財」と常々思っています。

(松浦 孝次)

○11月5日(日)豊中カトリック教会で、中井みも咲ちゃん(中井ご夫妻の長女)が洗礼を受けられました。おめでとうございます。健やかな成長をお祈り致します。

(松浦 和子)

○小林様、卓話ありがとうございました。新聞社のお話大変興味深かったです。今後共宜しくお願い致します。(三浦 直之)

○大阪センテナルの明るい未来を感じます。(山田 孝彦)

○小林一則さんご入会お目出度ございます。読売新聞でのご活躍、ゴルフ場経営の苦労話、素晴らしい卓話ありがとうございました。(山中 秀男)



大阪 Y・表現コミュニケーション学科で

お茶会の開催！！

11月17日、大阪YMCA会館403号室で、恒例のお茶会を、表現コミュニケーション学科の生徒36人が参加し行われました。まず当クラブの山中秀男メンが伝統的な日本の茶道の歴史、風習、習慣について説明。山中メンは、和、敬、清、寂の4つの文字で、茶道の精神を説き、人と人との出会い「一期一会」で、茶道がおもてなしの精神につながると説明しました。

次に、中村幸枝さんが実演。生徒全員が茶道の作法にしたがい、お茶を楽しみました。



終わって一息、充実した皆さんのいい笑顔

後記

12月はイエス・キリストの生誕を祝うクリスマス。偉大な聖人が生まれた場所が、貧しい小さな家畜小屋というのは、なんとも感慨深く、考えさせるものがあります。街にジングルベルの曲が流れ、あちこちにイルミネーションが輝き出します。

Shige